

令和5年度 学校関係者評価報告書

学校法人石井学園 八幡みなみ幼稚園

1. 本園の教育目標

一人ひとりの人格を尊重し、望ましい環境の中で、知育・徳育・体育のバランスのとれた豊かな人間形成の基礎を培う。

- ・身体的発達を助長し、健康な生活の基礎的習慣を養う。
- ・幼児期の純粋な好奇心を育て、思考力、表現力を高める。
- ・自然と親しみ、感謝や感動の気持ちを持てるよう、優しい心情と豊かな創造性を養う

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念、教育目標の内容を職員間で把握し、共通理解をする。それに沿った保育内容の改善を図り、幼児期ならではの学び等、年齢に合った取り組みを行い質の高い保育を提供できるよう教育活動の実施に取り組む。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

	評価項目	評価	取り組み状況
1	保育の質の向上	B	若い教諭の新しい発想と創造力、経験豊富なベテラン教諭、両者がアイデアを出し合い、日々保育実践に取り組んでおり成果を上げている。職員会議で反省点や疑問点を出しアドバイスを受ける等して、お互い連携を深め具体的方策を見つけて資質能力を高めていくチーム保育が少しずつ実を結んできている。
2	安全管理	A	子ども達への手洗い指導、各部屋や玩具の消毒の徹底により感染対策への成果が見られる。 バス乗降においてもバスキャッチ（アプリ）や、バス置き去り防止システム導入で安全確保に取り組んでいる。
3	特別支援教育	B	年々、支援を要する子どもが増えている。 専門機関との、連携を図り補助教諭とも情報を共有し理解を得るような、配慮作りをするように努めている。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	上記の項目について全職員で取り組んできた。職員の意識も高まってはいたが、まだ細かな教育実践には届いていない。もっと職員間のコミュニケーションをとりながら、信頼関係を築き、教育活動の充実に努力し、具体的な成果を上げていきたい。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	働き方改革	家庭での通信は、メール等で行う、ペーパーレス化や、預かり保育のタブレットでの管理等、ICTの導入で職員の負担を軽減。勤務時間も考慮していく
2	小学校、地域との連携	コロナ禍で関係が途絶えてしまったが、年長児は進学小学校との交流を図っていきたい。 地域の方に来園してもらい、一緒に伝承遊び等楽しめるよう考慮する。
3	行事の見直し	子どもと、職員が無理なく余裕をもって取り組めるよう行事を再確認し改善していく。

6. 学校関係者の評価

教職員の皆さんの、細かな指導に高い評価をしたい。いつも子ども達、先生が元気いっぱいの笑顔で挨拶をして迎えてくれて好感が持てます。

いろいろな行事もコロナ前の状態に戻り、以前のように来園する機会も増えました。

私共保護者の相談にも耳を傾け丁寧に聞いてくれて心強いです。また、子ども達が満足そうな顔で帰ってくる様子に園生活が充実していることが、伺えます。

今後も子ども達が、伸び伸びと過ごせる環境づくりに励んでいただいて、八幡みなみ幼稚園の教育目標に沿って成長していくことを願います

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

学校関係者評価委員

印

委員会実施日

令和 6年 2月 22日